

## 競技注意事項

1. 本大会は、平成30年度日本陸上競技連盟競技規則に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮して、特に教育的配慮のもとに競技を進行する。

2. 参加種目は一人2種目までとする。

リレー2種目には出場できない。リレーの補欠は1種目と数える。

3. スパイクシューズは使用してもよい。(ピンはオールウェザー用のものを使用し、長さは7ミリ以下とする。)

### 長距離種目はスパイク不可

4. コールは行わない。競技開始15分前までに集合の予告放送をするので、10分前までに、集合場所に集まり、(フィールド種目も) 係の指示に従うこと。

5. スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。

また、1回目のスタートでフライングがあった場合、2回目以降のスタートでは、フライングした選手を即失格とする。(ただし教育的配慮で参考記録として記録は測定する。)

6. 100m, 80mハードル, リレーの選手は、自分のレーンを走り、他のレーンの選手の妨害になる行為をしないこと。

7. **リレーにおいては、本年度のルール改正で、従来のテーク・オーバーゾーン手前からの助走マーク(10mの補助ゾーン)を含めてテークオーバーゾーンが30mとなる。ゾーンの入口から20m地点が100mの基準線となる。走者はこのゾーン内から走り始め、ゾーン内でバトンの受け渡しを完了すること。ただし笠岡陸上競技場はまだ30mのテークオーバーゾーンが未整備のため、従来の手前の助走マークをゾーン入口とし、従来のゾーン入り口より手前でバトンの受け渡しが行われても失格とはならない。**

8. 100mは、**決勝を実施する。**ただし80Hと長距離種目は、小学生の体力を考慮し、タイムレース決勝とする。**またリレー種目は本年度は6年女子のみ9チームで、他は8チーム以内のため、すべて予選を行わず決勝のみとする。(6年女子はタイムレース決勝)**

走り幅跳びは、全員3回の試技を行い、各学年の部とも上位8名が残り3回の試技を行い、6回の試技で順位を決定する。

走高跳の試技は1mから開始し、足からの着地のみ有効試技とする。

ジャベリックボール投げは、全国大会のルールに従い、全員3回の試技のみで順位を決定する。助走距離は15m以内とする。

どの種目も表彰は各学年の部別、男女別に行う。

9. 各種目とも上位6位までを表彰する。ただし参加者が8名以下の種目は3位までの表彰とする。参加者全員に記録証を配布する。(記入は各団体で行うこと)記録は速報板に掲示するのでよく確認のこと。なお、倉敷JCのホームページにも掲載するので、見落とした場合はそちらで確認のこと。

10. **各チームの指導者は、見学のマナーも含めて、選手の指導・管理を徹底すること。**

11. 本大会出場選手には、主催者側で1日傷害保険に加入しているが、けがや事故には十分注意すること。大会出場時の急病・事故については、応急処置以外の責任は負わない。なおけがをして病院に行く可能性のある場合は、必ず大会終了までに本部に申し出ておくこと。

12. 貴重品の管理は各人で行うこと。紛失の責任は負わない。

13. 昼食はスタンドでとって構わないが、**ごみは各自持ち帰ること。**

14. チームの選手の競技が全て終了したら、ナンバーカードをチームでまとめて、受付に返納すること。